

令和2年度 事業計画

我が国の経済は平成24年12月以降穏やかな回復基調が続いており、雇用情勢は大きく改善しました。令和元年7月の有効求人倍率は1.59倍で、前月に比べて0.02ポイント低下しました。低下は3か月連続。有効求人倍率の悪化が3か月続くのは、リーマン・ショックの影響があった平成21年8月以来、およそ10年ぶりということです。厚生労働省では米中貿易摩擦などの影響で、国内の製造業の求人数が緩やかに減少傾向になっている一方、65歳以上を中心に求職者が増えているため、有効求人倍率が低下したと分析しております。

こうした傾向は地方においてもみられ、史上初めて47都道府県で1倍以上となっており、雇用情勢が大きく改善する一方で、企業における人手不足が顕在化しています。

こうした中で、政府が平成30年11にまとめた「経済政策の方向性に関する中間整理」において、生涯現役社会の実現に向けて、意欲ある高齢者に働く場を準備するため、希望する高齢者については70歳までの就業機会の確保を図りつつ、それぞれの高齢者の希望・特性に応じた活躍のため、多様な選択肢を許容し、選択ができるような仕組みを検討しております。さらに地方自治体を中心とした就労促進の取組やシルバー人材センターの機能強化、求人先とのマッチング機能の強化など働きやすい環境を整備しています。

このように高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するシルバー人材センター事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっております。以上のことを踏まえて、以下の事業に取り組んで参ります。

事業実施計画

(1) 会員の増強

- ① 入会希望者が働く意欲を失わないうちに、随時入会説明会を実施致します。
- ② ひまわり倶楽部の協力のもと、女性会員の増強に努めます。
- ③ 公的機関等が開催する公開講座・研修等へ出向き、会員募集を行います。
- ④ 市及び県が主催する催し物への参加を図り、多くの方にシルバー人材センターを周知致します。
- ⑤ 常に情報収集に努め、高齢者が集まる場所にてシルバー人材センターのPRに努めます。

(2) シルバー活動の周知と派遣事業の拡大

- ① 市広報紙及び新聞等に当センター会員のコメントと就業写真を載せた折り込みを入れ、シルバーの活動をより多くの方に周知し理解を深めます。
- ② 派遣開拓員による会社訪問・チラシのポスティング等を行い、派遣先の拡大に努め現在請負で就業している職種については契約内容等を調査し発注先と協議の上、派遣に切り替えてまいります。

- ③ 新規企業からの依頼についてはできる限り要望に応えるとともに派遣事業を積極的に取り組んでまいります。

(3)新規事業（フレイル対策等）への取り組み

- ① 国の成長戦略の一貫としてフレイル対策の必要性につき、当センターにおきましても、県の主導のもとフレイル予防サポーターの育成と体力測定員を養成致します。
- ② フレイル事業等を積極的に行っているセンターへの視察研修を実施致します。
- ③ シルバーファーム（農園）につきましても、規模を縮小してスタートしてまいります。
- ④ 羽生市の土地柄を生かした自主事業の開発の調査研究を行います。
- ⑤ 引き続き空き家・空地の管理について啓発活動を行います。

(4)将来に向けた事業基盤及び事務局体制

- ① 埼玉県シルバー人材センター連合にて作成した「事業推進計画」を柱に、県内複数の中・長期計画を参考に羽生市シルバー人材センター中・長期計画(5ヶ年計画)の基盤をつくり策定に着手いたします。
- ② 新事務所建設に向け、「特定費用準備資金」により最長 10 年間を限度として積立を行ってまいります。
- ③ 今後のセンター事業の在り方について、先進地シルバー人材センターの役員（理事・監事）と意見交換会を実施致します。

(5)安全適正就業の推進・就業における法令遵守と非行防止

- ① 安全適正就業推進委員会による熱中症予防啓発、安全保護具の装着設置を確認するための抜き打ちの就業現場へのパトロールを行います。
- ② 事故・トラブルの事例を公表し情報の共有化を図り、併せて再発防止を図ります。
- ③ 健康診断の受診を強く推進し、健康意識の向上に努めます。
- ④ 会員の健康維持、知識向上のため、各種講演会を積極的に開催します。
- ⑤ 県内外では多くの事故・事件が多発しております。常識ある行動・善悪の判断を確認する目的で法律家による法令遵守と非行防止の講習会を開催し、全会員の受講を行います。

(6)ボランティア活動の実施

- ① シルバー人材センター事業の啓発と会員の社会貢献を目的に、例年実施している「市役所松等剪定」「街なか清掃」「キヤッセ羽生清掃のボランティア活動」を継続するとともに、新たに市内福祉施設に関するボランティア活動の取り組みを行います。

* 令和 2 年度数値目標 (会員数)360 名 (契約金額)2 億 2 千万円